

**医療生協健文会現勢** 2020年4月30日現在

|         |              |
|---------|--------------|
| ●組合員    | 18,609人      |
| ●出資金額   | 611,006,000円 |
| ●平均出資金額 | 32,834円      |
| ●支部数    | 21支部         |
| ●登録班数   | 134班         |

住所変更等ありましたら、  
まちづくり組合員活動支援部までご連絡ください

〒755-0005 宇部市五十目山町16-23  
TEL 0836-33-6644 FAX 0836-33-6651  
<http://www.mcoop.kenbun.jp/kenbun/>

以上

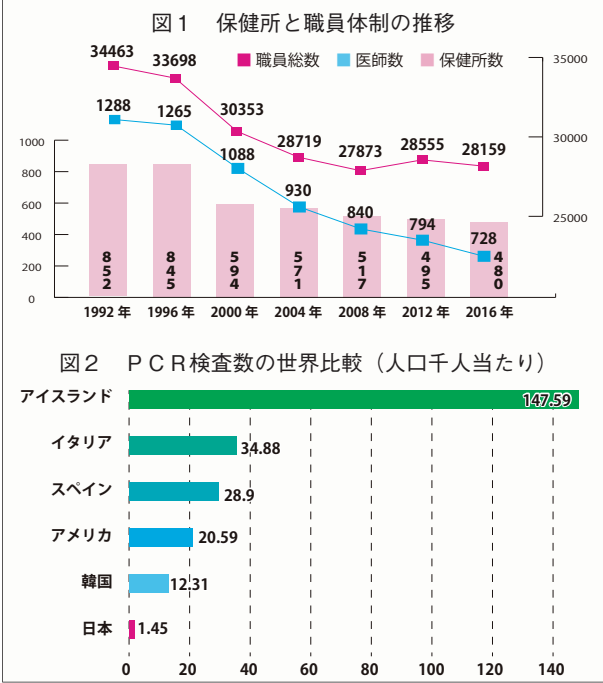
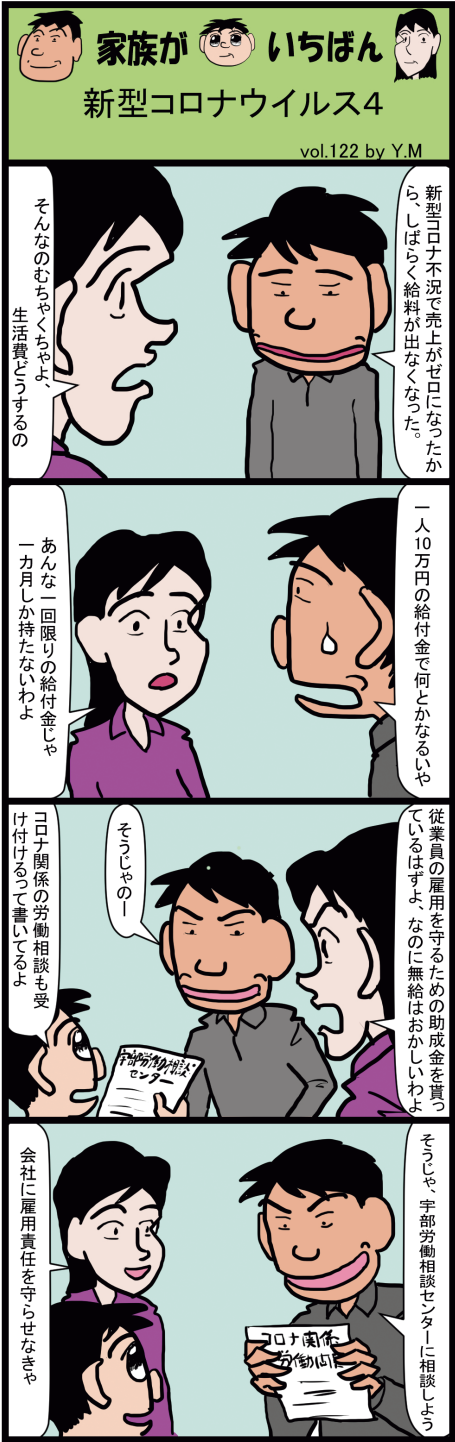


図1（国立社会保障・人口問題研究所 社会保障統計年報データベースより作成）  
図2（Our World in Data COVID-19 datasetより作成）

第25条 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

2 国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。

※国民の健康権とともに、国の責務として社会福祉、社会保障、公衆衛生の向上及び増進を図ることが明記されています。

新型コロナウイルスの問題では、当初、政府は相談窓口を各保健所に設置された「帰国者・接触者相談センター」に一本化し、感染を判定する

**健康権を守る 役割を担う**

保健所の歴史は、1937（昭和12）年の（旧）保健所法に始まります。戦争に進む時代に国が住民の健康管理を把握するため、警察署と深いつながりをもって設置されました。

戦後、日本国憲法25条に「健康権」が明記され、住民参加を前提とした公衆衛生運動と結びついて、住民の健康権を守る重要な役割を担うことになりました。

1947年に保健所法が改正され、都道府県主体の公衆衛生専門技術機関として人口10万人に1カ所を基準に設置、地域の実情に応じた民主的運営をすすめるための保健所運営協議会も設けられ再出発しました。

1975年には「公衆衛生

**保健所は憲法25条の実現**

「新型コロナウイルスへの感染の心配は、最寄りの保健所などに設置される『帰国者・接触者相談センター』にお問い合わせてください」この数か月、毎日のように見聞きしてきた「保健所」。業務は健康相談や保健指導のほか、医事、薬事、食品衛生、環境衛生など多岐にわたります。

しかし、1980年代以降「臨調行革」路線による社会保障制度の全面的再編が始まると、福祉、公衆衛生、医療、教育などの住民サービスを担う職員の削減が強行されます。地域で住民の健康権を守る役割を担ってきた保健所も例外ではありませんでした。

1994年には「保健所法」が「地域保健法」と改称され、保健所の統廃合など公衆衛生全般の見直しが始まりました。保健所の管轄地域をそれまでより広域の2次医療圏と一致させると規

4原則」（①総合性、②地域即応性、③科学性、④地域住民の自発性）が確認され、住民主体の公衆衛生運動の中核として大きな役割を果たすことが期待されていました。

**社会保障制度の再編で**

**読者の声**

【山口支部 北村のみさこ】私の娘は関西で小さな飲食店を営んでいます。一度もお金の無心をした事のない娘から「2000〜3000万円を貸して欲しい」と電話がありました。営業自粛の影響で収入が激減したそうです。毎月100万円の売り上げがないと、30万円の家賃を始め水光熱費や人件費、仕入れ代が捻出できないとの事。現在、店頭で2000円以下のテイクアウト販売をしています。一日1万円の売上にまわらず、焼石に水と嘆いています。自粛と同時に補償がされなければ、小さな店舗は廃業を余儀なくされます。国の無策に腹が立ちます。

【恩田南支部 大庭ミチ子さん】人類や動植物が危機に直結している地球温暖化。16歳のスウェーデンの環境活動家が政府の無策に抗議された。その勇気に頭が下がる思いです。私達一人ひとりが真剣に考えていかないとけないと思います。

【山陽支部 白石玲子さん】組合員のみなさんへというパンフレット、タオル体操のDVDを届けていただきました。タオル体操は毎日やっています。素足でタオルを引き寄せるのが、なかなか上手になりません。あいうべ体操もやっています。一人なので会話はありません。

【厚南支部 藤永陽子さん】昨年12月に中国で初の発症者が出てから数ヶ月。日本の政策では一人ひとりの大切ないのちが守れるのか、難しいです。当面の課題と向きあふことと安倍政権を終わりにする運動を、行動しなければいけませんね

定し、保健所総数、とくに、都道府県を設置主体とする保健所数が大きく減少しました。連携を口実に進められた保健所と福祉事務所との統合も、職員減らしに利用されました。（図1参照）

**新型コロナウイルスの問題から学ぶべきは**

新型コロナウイルスの問題では、当初、政府は相談窓口を各保健所に設置された「帰国者・接触者相談センター」に一本化し、感染を判定する

健康のひろば クイズ 2020年6月号

コロナ禍の克服は、や、経済格差による健康や人格の破壊というコロナ禍以前の大問題の解決と共通する。（●には漢字が入ります。ヒントは1面）

**問題**

【応募方法】住所、氏名、年齢、電話番号を明記し、身近な出来事ご意見ご感想など、ひと言そえて下さい。ご意見ご感想は、掲載させていただきます。ことがありません。ご了承ください。

●当選者に薄謝 5名様分  
●締切 2020年6月末日  
●発表 2020年7月号にて  
●あて先 〒755-0005 宇部市五十目山町15の7の1 医療生協健文会まちづくり組合員活動支援部クイズ係まで  
FAX 0836-34-2512  
メール sosik@kenbun@yahoo.co.jp

【2020年3月号の答え】ドイツのシンクタンクによると「2018年度の気象災害被害は日本が世界1位」。

【当選者】恩田中央支部 西村貞美さん  
下関支部 植屋幸子さん  
厚南支部 内野俊恵さん  
上宇部川上支部 内田満智子さん  
山口支部 小田恵子さん

第一二〇回（6月号）  
**川柳のひろば**  
藤本一兔 選

**人** どさくさにねじって曲げる保身術  
常盤支部 コロナブルー

**地** 飲み菓足りなかつたり余つたり  
厚南支部 ター坊

**天** たましいのもつたやさしさありがたい  
恩田西支部 小林 紳祐

**軸** コロナ禍に過去を直せと諭される  
一兔

**川柳大募集**  
あて先 宇部市五十目山町15の7の1 医療生協健文会まちづくり組合員活動支援部クイズ係まで  
FAX 0836-34-2512  
メール sosik@kenbun@yahoo.co.jp  
締切 2020年7月号（必着）

**手配りのみなさまへ**

毎月、健文会の機関紙活動にご協力いただき、ありがとうございます。

「新型コロナウイルス」感染拡大の影響がつづき、過去に経験したことのない状況のなかで不安な日々をお過ごしのことと存じます。先月号（5月号）でお知らせしましたが、健文会は「原則として5月末までのすべての組合員活動を中止する」との方針を継続しております（5月11日時点）。

外出自粛の要請により、屋外での手配り活動を懸念されておられることと存じます。その際は、どうぞご無理をなさらないようにしてください。配布がご無理な場合、まずは支援部までご一報お待ちしております。